

一人ひとりを大切にした 一人ひとりが輝ける 地域とともにある学校



とよの東学園だより

クヴィーテニ

КВІТЕНЬ 号

<https://www.town.toyono.osaka.jp/school/toyono-higashi/>

令和8(2026)年4月



児童生徒のみなさん、新年度を迎え、気持ちも新たに「今年度は何をがんばろうか」と考えているのではないのでしょうか。

この4月から、東能勢小中学校は、本日開校式を終え、義務教育学校「とよの東学園」として新たなスタートをきりました。これまで東能勢小学校が積み重ねてきた150年の歴史を礎に、児童生徒、保護者・地域のみなさま、学校に関わっていただいているすべての方、教職員とともに力を合わせ、チーム「とよの東」一丸となって、地域とともにある学校「とよの東学園」が活気あふれる学校をめざしてがんばりましょう！

そして、児童生徒にとって「自ら学びたいと思う楽しい学校」、保護者にとって「子どもの学びをともに育み、サポートしたくなる学校」、地域の方にとって、「親しみを感じ、子どもたちの挑戦を応援したくなる」、教職員にとって「豊かな発想や経験を生かした、皆が働きがいのある学校」といった、学校に関わる全ての立場の方が「誇れる学校」になるという目標を、形あるものにしていきます。

表題の「КВІТЕНЬ (クヴィーテニ)」とは、ウクライナ語で4月を表しています。昨年度、人権講演会でジャーナリストの玉本英子さんにお越しいただき、「ウクライナの子どもたちは 今」と題し、地下シェルターや地下鉄構内で学ぶ子どもたちや、希望を失わず日常生活を続けようとする少女の姿など、取材映像を通して、講演をしていただきました。そんなご縁から、今年度の月表記はウクライナ語で紹介をさせていただきます。

また、引き続き体験、探究を学習に積極的に取り入れ、名称を「とよの未来科～東能勢style～」改め、「とよの未来科～[®]style～」として、より深い学びへと進めていきたいと思っております。“[®]”には、「East (東)」「Experience (体験)」「Exploration (探究学習)」「いい」などの思いを込めて、積極的に推進してまいります。これまでの東能勢小中学校に続きまして、引き続きご支援、ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。



感謝と絆を未来へ繋ぎましょう！

とよの東学園 校長 高橋 弘樹

お知らせとお願い

○給食着について

豊能町教育委員会から「給食着については安全面・衛生面の観点から腕が隠れるものが適当である」との方針を受け、給食だより『いただきます』4月号の裏面に記載があります通り、今年度より給食着につきましては、①袖のある前ボタン型②袖のある割烹着型③胸当て付きエプロンと腕カバーのうち、いずれかのご用意をお願いすることとなりました。引き続き現在お使いのマイエプロンを使用される際は、4月末を目途に腕カバーをご準備くださいますようお願いいたします。また、現在お使いのエプロンを買替える機会が来ましたら、次は①②タイプのご用意をお願いいたします。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

児童・生徒数（4月1日現在）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	合計
学級数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
児童・生徒数	12	10	14	12	16	20	15	20	16	135

教職員の異動

〈転出〉

〈転入・新規〉

とよの東学園 ブログ

検索



とよの東学園の活動を紹介！